

県民だより

9

月号

編集・発行 栃木県企画部広報課

〒320-8501 宇都宮市埜田1-1-20

TEL 028-623-2192 FAX 028-623-2160

自立への挑戦を支援



とちぎ健康の森（宇都宮市駒生町）に「とちぎリハビリテーションセンター」が完成。九月一日にオープンしました。

「とちぎリハビリテーションセンター」は、県内リハビリテーションの中核施設として整備されたもので、子どもからお年寄りまで幅広い年齢層に対応する全国でも数少ない施設です。

障害のある方が一日でも早く自立した生活が送れるよう、専門的なりハビリテーションを提供します。

とちぎリハビリテーションセンターオープン

リハビリテーション病院を新設

近年、障害者の高齢化や障害の多様化が進行するなかで、障害者一人ひとりの状況に応じた、より質の高いリハビリテーションを提供できる体制づくりが求められています。

「とちぎリハビリテーションセンター」は、こうした体制の中核的な役割を担う施設として整備されたもので、リハビリテーション病院、三つの児童福祉施設、二つの身体障害者福祉施設、二つの相談・判定機関で構成されています。昭和四十八年に開設された県身体障害者医療福祉センターの役割を引き継ぐとともに、リハビリテーション病院や子ども発達支援センターなどが新設されました。

リハビリテーション病院は病床数が八十床。診療科目はリハビリテーション科、小児科、整形外科などで、主に脳卒中の回復期にある方や障害のあるお子さんなどを対象に専門的な医療を提供します。



MRI(画像診断装置) /従来のレントゲン撮影より詳細な情報が得られます

対象に専門的な医療を提供します。

また、子ども発達支援センターでは、障害のある就学前のお子さんを対象に総合的な療育・訓練を行います。保護者の方と一緒にご利用いただくことで家庭での適切な訓練方法や障害に対する正しい知識なども提供します。



「今日もがんばろう」
お子さんの努力を大切にします

地域での生活を支えるために

「とちぎリハビリテーションセンター」では、単に失われた機能を回復するだけでなく、障害のある方が誇りと生きがいを持ちながら、社会の中で自立した生活が送れるようになるための支援をめざしています。

このため、医師などを中心とした専門家チームが、一人ひとりの状況に最も適した個別プログラムを作成し、相談から治療・訓練まで一貫したサービスを提供すること

ととしています。

さらに、県内のどの地域においてもリハビリテーションが円滑に行われるよう、市町村や福祉施設などに対して技術的助言・支援を行うほか、社会や教育、職業といった分野とも連携を図り、障害のある方の生活を総合的にサポートします。

◇問合せ 県障害福祉課

TEL 028-623-33491



●リハビリテーションとは…障害者などに対して、医療、教育、職業、社会などの専門領域から総合的な援助を行うことにより、単に身体的機能を回復するだけでなく、人間としての尊厳を回復し、生きがいを持って社会参加できるようにすることです。

健康の森

～県民の健康と生きがいをサポート～



少子高齢化が進むなか、誰もが健康で、生きがいを持ち、ともに支えあう社会づくりが求められています。こうしたなか、県では平成九年四月、とちぎ健康の森に「とちぎ健康づくりセンター」と「とちぎ生きがいきづくりセンター」を開設しました。これまでに多くの県民の方々にご利用いただいています。また、今年九月には「とちぎリハビリテーションセンター」を開設。障害のある方が地域社会において自立した生活が送れるよう支援する施設を新設しました。

とちぎ健康の森では、この三つのセンターがそれぞれの特徴を活かし、県民の皆さんの健康と生きがいきづくりを様々な面からサポートします。



安全で効果的な健康づくりのため、まず健康度測定の受検をおすすめします

年々増加する生活習慣病の予防をはじめ、「栄養・運動・休養」の観点から県民の皆さんの自主的、積極的な健康づくりを支援します。

とちぎ健康づくりセンター

◇問合せ
TEL 028-623-5858

◆健康度測定・体力測定の実施
現在の健康状態や体力がチェックできます。

◆講座・教室の開催
エアロビクス講座、生活習慣病予防教室などを定期的に開催しています。

◆施設の利用
トレーニングルームをはじめ温水プール、運動フロア、エアロビクススタジオなどが利用できます。

※講座・教室の受講や施設の利用に際しては、健康度測定または体力測定の受検が必要となる場合があります。



患者さんとスタッフのパートナーシップを大切にリハビリテーションは行われます

障害のある方々に様々なリハビリテーションを提供し、速やかな社会復帰を支援します。

とちぎリハビリテーションセンター

◇問合せ/直接各施設へ

●リハビリテーション病院
TEL 028-623-6124

(初診予約専用)
TEL 028-623-7254

●専門的なりハビリテーション医療を行います。

●こども療育センター
TEL 028-623-6138

●脳性麻痺などで体に障害のあるお子さんを対象に、治療、訓練を行います。

定員/入所四十人

●こども発達支援センター
TEL 028-623-6128

●肢体不自由、知的障害のある就学前のお子さんを対象に、療育、訓練を行います。

定員/通園七十人

●駒生園(こまにゆうえん)
TEL 028-623-6310

●脳血管疾患などで体に障害のある方を対象に、職場や家庭復帰に向けた訓練を行います。

定員/入所八十人、通所十人

みんなで支える

介護保険制度

高齢者の介護を社会全体で支える介護保険制度。開始から一年半がたち、多くの方々がサービスを利用されています。

県内では、訪問介護や通所介護などの在宅サービスを受けている方が約一萬七千人、特別養護老人ホームや老人保健施設などに入所されている方は約九千人にのぼります。

こうした利用者を対象に行ったアンケートでは、約九割の方がサービスに満足していると答えています。サービスの質の向上や、施設整備の促進などを求めるご意見も寄せられています。

県では、皆さまのご意見を伺いながら、制度の円滑な推進に努めていきたいと考えています。

また、十月からは、六十五歳以上の方の保険料の全額納付が始まります。

介護保険制度は、国・県・市町村の公費と保険料で運営されています。皆さまのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、サービスについての相談や苦情、ご意見は県高齢対策課、各市町村窓口、または国民健康保険団体連合会(TEL 028-643-2220)までお寄せください。

◇問合せ 県高齢対策課
TEL 028-623-3148

が始まります!

より本来の保険料の半額に減額いただくことになりま

本来の保険料の額を納めます

月

介護サービスに必要な費用で割った額を基準額としています。

の保険料(64歳まで)の保険料



TOPICS

フランスのホストファミリー来県



知事室を訪れたホストファミリーの5名。県内各地を訪れ、栃木の文化に触れました

県と友好交流を行っているフランス共和国・ヴォークリューズ県から、プロヴァンス・ジャポン協会の会員が来県。八月二十一日、福田知事を表敬訪問しました。同協会は、本県と民間レベルでの交流を続けており、県が毎年行っている海外研修事業ではホームステイの受入れなどに協力されています。

一行は、八月十七日から二十六日まで滞在し、県内の家庭でのホームステイやスポーツを通して、互いの交流を深めました。

◇問合せ 県国際交流課
TEL 028-623-2195

わかくさ養護学校を移転整備



8月29日に行なわれた落成式。生徒たちも風船を飛ばし祝いました

九月一日、「わかくさ養護学校」がとちぎリハビリテーションセンター（宇都宮市駒生町）に併設して整備されました。同校は、昭和四十五年に建てられ老朽化が進んでいた「若草養護学校」を移転整備したものです。

教室内を移動できるリフトや障害に配慮した指導ができる設備を整えたほか、のびのびと学習できるよう周囲の環境にも配慮しました。同センター内の肢体不自由児施設に入所する児童生徒など、約四十名がここで学びます。

◇問合せ 同校
TEL 028-622-3650

小山市で総合防災訓練



会場には展示や体験コーナーなども。写真は救急法の説明を受ける福田知事

九月二日、栃木県と小山市共催の総合防災訓練が小山市石ノ上河川広場で開催されました。地域防災計画の円滑な運用や県民の防災意識を高めることを目的に、県、市、警察、消防、自衛隊など、七十機関、約千八百名が参加しました。

この日は、小山市付近を震源とする直下型地震のほかに、風水害なども想定。外国人や障害者の避難訓練を初めて実施したほか、初期消火訓練や救助訓練、ライフライン復旧訓練、水防訓練などが本番さながらに行われました。

◇問合せ 県消防防災課
TEL 028-623-2136

とちぎ

ご案内図



〒320-8503 栃木県宇都宮市駒生町3337-1

【交通機関】

●JR宇都宮駅から関東バス駒生営業所行（約25分）、「とちぎ健康の森」リハビリテーションセンター」または終点下車
※駒生営業所行のバスは「10」番と表示されています

【自家用車】

●東北自動車道宇都宮インターから約15分
●東北自動車道鹿沼インターから約20分



シルバー大学校では、原則として60歳以上の方を対象に、2年間で計320時間のカリキュラムを用意しています

「学ぶ・働く・社会参加」をテーマに、高齢者の皆さんが豊かにいきいきとした生活ができるよう、生きがいづくりを支援します。

とちぎ生きかいらいセンター

TEL 028-627-4710

- ◆シルバー大学校
高齢社会を豊かに過ごすために学習の機会を提供しています。
- ◆総合相談
高齢者の生活全般にわたる相談を実施しています。
- ◆介護研修センター
高齢者介護研修を行い、介護知識や技術の普及を図っています。
- ◆シルバー人材センター
就業を希望する高齢者へ就労に関する支援を行っています。
- ◆社会参加活動
各種イベントを開催しています。

国会等移転 Q&A

皆さまからお寄せいただいた質問にお答えします

Q) 「国会等の移転」で、何が移転してくるのですか？

A) 「国会等の移転」とは、「首都機能移転」と同じ意味で、国会や中央省庁、最高裁判所といった立法・行政・司法の三権の中核機能を、東京から60km以上離れた地域に移転することです。

第二の東京ができるのではないかと心配する声も聞かれますが、政治・行政の中核機能が移転するだけで、経済や文化の機能までが移転してくるものではありません。また、行政改革、地方分権を進めることで、さらにスリム化された三権の機能の移転になると考えます。

移転にあたっては、人口10万人程度の国政都市を中心に、数万人程度の小都市群が分散して配置されると考えられます。



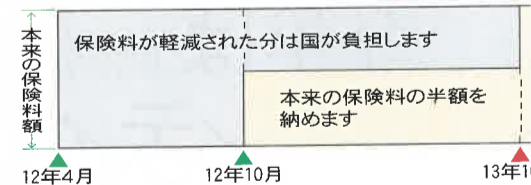
那須地域における国政都市のイメージ

◇問合せ 県企画調整課 国会等移転対策室
☎028-623-2209

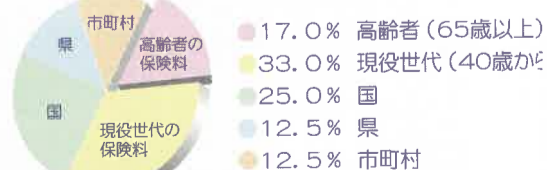
お知らせ

10月から高齢者の保険料全額の納付

現在、65歳以上の方の保険料は、国の特別対策により、額を納めていただいておりますが、10月から全額納付です。



●保険料の額は、お住まいの市町村ごとに異なります。な費用の約6分の1（17%）を、65歳以上の方の年齢とし、本人及び世帯の所得に応じて、5段階に設定され



マロニエド ガイ



花 歳 時 記

ヒガンバナ (ヒガンバナ科)

別名は、サンスクリット語で「赤い花」を意味する「曼珠沙華」。真上から見ると、生まれたての宇宙のように感じられます。向こう岸に咲く花は、寄り添い合って生命の大切さを合唱しているのかもしれない。

ウォッチングポイント

田畑のあぜ道や河川の土手に群生して咲きます。葉は晩秋に出現し、そのまま冬を越え翌春に枯れます。

県子ども総合科学館

宇都宮市西川町567 ☎028-659-5555

- プラネタリウム◎新番組「ペルセウスおうじとアンドロメダひめのぼけけん(年少向け)」、「月に魅せられて(一般向け)」、いずれも上映中◎特別番組「星空さんぽ」、9月29日(土)午後3時~
- バラエティーサイエンス●9月22日(土)・23日(日)①午前10時30分②午後1時30分③午後3時30分 簡単に楽しい工作や実験を行います
- 児童館フェア「わいわい遊びの屋台村」●10月6日(土)・7日(日)●県内の児童館が大集合。いろいろな工作や遊びの屋台がたくさん並びます

県立美術館

宇都宮市桜4-2-7 ☎028-621-3566

- 第55回栃木県芸術祭美術展—洋画・彫塑・工芸—●9月22日(土)~10月3日(水)
- 常設展・テーマ展示「20世紀のポートレート」●10月8日(月)まで
- 日光出身、柄澤齊さんの木口木版による肖像画シリーズなどを紹介します



肖像XXIII ルイス・キャロルとアリス・リットル 柄澤齊 1984年

県立博物館

宇都宮市睦町2-2 ☎028-634-1312

- 特別企画展「—京都・日光・例幣使—光格天皇と幻の將軍」(霞会館と共催)に関連し、①展示解説②記念講演会を開催します●①9月23日(日)・10月13日(土)②9月15日(土)・10月14日(日)
- いずれも午後1時30分~●電話申込み
- テーマ展「昆虫界の人気者」●開催中



コーカサスオオカブト

トリハネアゲハ

県総合文化センター

宇都宮市本町1-8 ☎028-643-1010

- 世界遺産「日光の社寺」登録記念、県総合文化センター開館10周年記念「オペラ『日光』」●~今、歴史の1ページが幕を開ける~
- 10月7日(日)・8日(月・祝)午後3時開演
- チケット残りわずか
- 鼓童公演●10月13日(土)午後6時30分開演



お知らせ

Information

薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」

10・11月は麻薬・覚せい剤乱用防止運動期間

催し

●とちぎ花センター「洋ラン展」

●11月25日(日)まで●県内産の洋ランを中心に花の展示を行います。花の魅力をお楽しみください●入館料 大人420円、小人210円●問合せ 同センター(岩舟町)☎0282-55-5775

●北那須浄化センターのついで

●9月22日(土)午前10時~午後2時●場所 北那須浄化センター(大田原市)●内容 施設公開、ピンゴゲーム大会ほか●参加無料●問合せ 同センター☎0287-28-2277

●日光・那須リゾートの旅スタンプラリー

●リゾート地域(日光市、今市市、黒磯市、栗山村、藤原町、那須町、塩原町)の38施設のうち3か所のスタンプを集めてください。豪華賞品(特賞/旅行券10万円分、ほか)が当たります●実施期間 9月30日(日)~平成14年1月20日(日)●応募締切 平成14年1月25日(金)当日消印有効●問合せ 県地域振興課☎028-623-2256

●とちぎ住宅フェア2001

●10月12日(金)~14日(日)●場所 マロニエプラザ(宇都宮市)●テーマ やさしさに満ちた住まいづくり●問合せ 県住宅課☎028-623-2483

●とちぎ海浜自然の家第3回親子のついで

●10月27日(土)~28日(日)1泊2日●場所 とちぎ海浜自然の家●内容 高速遊覧船での

太平洋体験クルーズほか●対象 3歳以上のお子さんとその保護者●定員 150名●参加費 大人7,300円ほか●申込み 10月3日(水)までに往復ハガキで(必着)●問合せ 同自然の家(茨城県旭村玉田336-2)☎0291-37-4004

講座

●高等産業技術学校技能講習

●対象 会社などにお勤めの方【県央校☎028-689-6380】◎アーク溶接特別教育●9月25日(火)~27日(木)【県北校☎0287-64-5454】◎ワイヤーカット加工入門●9月27日(木)・28日(金)【県南校☎0284-91-0803】◎TIG溶接(アルミ・ステンレス)●9月26日(水)~28日(金)

●男女共同参画地域連携フォーラム

●内容 男女共同参画に関する活動事例の発表や有識者の講演など●申込み・問合せ 県女性青少年課☎028-623-3074【宇都宮地区】●10月13日(土)午後1時~4時●場所 栃木会館●基調講演 石川牧子さん【那須地区】●11月17日(土)午前10時~午後3時30分●場所 黒磯市文化会館ほか●基調講演 落合恵子さん【栃木地区】●平成14年1月19日(土)午後0時30分~4時15分●場所 栃木市文化会館●基調講演 ゆみこ・ながい・むらせさん、村瀬春樹さん

●中小企業環境・安全対応講習会

●対象 中小企業の役員●定員 各100名(先着順)●参加無料●申込み・問合せ (財)県産業振興センター☎028-637-3788◎化学物質管理促進法・ダイオキシン類対策特別措置法対応講習会●10月10日(水)午後1時~5時●場所 ホテル東日本宇都宮●締切 9月26日(水)◎環境管理・監査制度対応講習会●10月18日(木)午後1時~5時●場所 アピア(宇都宮市)●締切 10月4日(木)

案内

●障害者福祉プラン関連調査にご協力を

●障害者の方の生活状況や各種ニーズ等の調査を行います●調査票を郵送しますので、ぜひ回答にご協力ください●対象 身体障害者手帳及び療育手帳の所有者から抽出された方●問合せ 県障害福祉課☎028-623-3491

●福祉のしごと移動相談会

●9月22日(土)午前10時30分~午後3時(受付は午後2時30分まで)●会場 真岡市総合福祉保健センター(真岡市荒町)●福祉の仕事に就きたい方に福祉職の紹介・あつせん、求人状況、資格取得、学校案内などの情報提供・相談を行います●相談無料●問合せ 栃木県福祉人材研修センター☎028-643-5622

●2002とちぎ求人企業合同面接会

●10月1日(月)午後1時~4時●場所 コンセーレ(宇都宮市)●対象 来春大学・短大・高専・専修学校卒業予定者●参加学生は履歴書を複数用意し、直接会場へ●問合せ 県労政課☎028-623-3224

●家庭教育相談事業「巡回相談日」

●①10月18日(木)午後1時30分~4時②10月24日(水)午前10時~午後3時●場所 ①真岡市公民館②足利市助戸公民館●子育ての不安や悩みなどお気軽にご相談ください●申込み 各実施日の2週間前までに電話、ハガキ、FAXで●問合せ 県生涯学習課(宇都宮市埴田1-1-20)☎028-623-3404、FAX028-623-3406

●野鳥を飼っていませんか?

●許可を受けずに野鳥を飼うのは違法です●野鳥を捕まったり、売ったりしているのを見かけたら、県自然環境課またはお近くの県林務事務所へお知らせください●問合せ 県自然環境課☎028-623-3261

県の広報番組 とちぎテレビ

●クローズアップとちぎ

●土曜日9:00~9:30◎月曜日22:00~22:30
9月15日 総合防災訓練
22日 技能労働者の育成
29日 わが街の駐在さんIV
10月6日 とちぎ木の県推進運動

●とちぎ情報局

●木曜日22:00~22:45◎日曜日8:30~9:15

【わがまち発見伝】

9月20日 天然の力・薬草(芳賀・佐野ほか)
27日 オペラ「日光」をうたう人々(宇都宮ほか)
10月4日 壮絶!難解!栃木弁バトル
11日 とちぎの森の炭づくり(矢板ほか)



県民クイズ「ナンジャコ、ソレ?」ロケ風景

●特別番組

ドラマ「栃木・福島地域ってどんなところ? ~人と自然が共生する新しい国会都市は~」
●9月15日(土)17:30~18:00
国会等移転先候補地「栃木・福島地域」の魅力と適地性をドラマ仕立てでご紹介します

◎問合せ 県広報課 ☎028-623-2190

今年 International Volunteer Year 2001 ボランティア国際年です

「21世紀最初の年をボランティア国際年に」平成9年の国連総会で日本が提唱した提案は、122カ国の賛同を得て、採択されました。ボランティア国際年は、ボランティア活動を盛んにするため世界中で取り組む運動です。災害や環境保全、福祉の現場などで注目されるボランティア活動。私たちの暮らす社会をよりよくするには、行政だけではなく、一人ひとりの力、ボランティアの力が必要です。県では、ボランティアの役割や重要性を知っていただくため、フォーラムを開催します。あなたも、ボランティアについて一緒に考えてみませんか。



2001年はボランティア国際年

ボランティア国際年とちぎフォーラム

- 期日 10月20日(土)
 - 会場 県総合文化センター メインホール(宇都宮市本町1-8)
 - 内容 10:00~ 記念演奏(白鷺大学ハンドベルクワイア)
10:40~ 記念講演「自分を見つめて、世界を見つめる」
紺野美沙子(女優、国連開発計画親善大使)
 - 13:10~ ボランティア活動団体事例発表
ゲストコメンテーター 幸田悌三(俳優、世田谷ボランティア協会理事長)
 - 14:30~ パネルディスカッション
「わたしたちができること」をテーマに、国際年の目的について討論します
コーディネーター 加藤千佐子(作新学院大学女子短期大学部教授)
パネラー 青木英典(佐野国際情報短期大学ボランティアサークル代表)
鈴木光尚(NPO法人足利NPOフォーラム代表理事)
高木美保(女優)
福田富一(宇都宮市長)
松本カネ子(栃木県ボランティア連絡協議会長) (敬称略)
- 申込みは、10月5日(金)までにハガキかFAXで「栃木県文化振興課フォーラム担当」まで(必着)。〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20/FAX 028-623-2121
◇問合せ 県文化振興課☎028-623-2145